

建築協會
6.2.5
受付

旅客驛建物設計の要領

長倉不二夫

第11卷第2号

社団法人 滿洲建築協會

滿洲建築協會雜誌

營口煉瓦製造所

◆ 特許賣 鐵筋煉瓦

◆ ホロータイル

◆ フェースブリック

◆ スクラッチタイル

◆ カットタイル

◆ 機械製煉瓦

◆ 普通煉瓦

◆ 硬質煉瓦

大連管内西山會春柳屯一番地

大連工場

大連管内周水屯會周家屯

周水工場

大連市越後町二八番地

大連出張所

大連市財神街三番地

馬車配給所

電話七七八番

電話三九〇五番

滿洲建築協會雜誌

第十一卷・第二號・特輯

目次

卷頭圖版

- 長春電話局廳舍
 - 外觀
 - 中央階段
 - 電話交換室
 - 配置及平面圖
- 早川正雄氏住宅
 - 外觀
 - 應接間
 - 居間及食堂
 - 日本間
 - 平面圖

本文

旅客驛建物設計の要領……長倉不二夫……(1)

長春電話局廳舍新築工事概要……………(40)

早川正雄氏住宅新築工事概要……………(41)

會報……………(42)

新入會員 會員移動 共同事務所解散
 橫井事務所再現 伊藤事務所開設 交換圖書

編輯記……………(目次裏)

附錄 第十卷總目次

編輯記

〔本號は昨多歐洲留學から歸任されました滿鐵本社建築課長倉不二夫氏のお土産論文とも云ふべき旅客驛本屋の設計に關する特輯として各位に提供されることになりました。〕

〔一時脈の切れた大連驛の新築が、昨秋來再び實現性が濃厚になつて來て、近く施工者問題で業界をウナラせてゐる折柄、筆者が専らドイツにあつて研究し、更に之れを米國に於て裏書された。此の報告論文が本誌の特輯として會員諸賢並に一般社會に公表せらるゝに至つたことは、頗る時宜に適つたことであると信じます。〕

〔毎月計畫通りに行くか行かぬかは約束し兼ねますが、大體本年は、かうした特輯的の編輯を試み度いと願つてゐます。特輯と申しましても、筆者が一人で均定頁數の全部を占領せらるゝ場合もありませうし、或は一の問題の下に、その問題を取扱つた數篇を集めて一冊の雜誌にする場合もあらうと思ひます。近く編輯會議を開いて、年内中の編輯方針を決定して御豫告でも出来る様にしたと存じます。〕

〔本誌も目出度十一歳の春を迎へました。這般の連鎖商店號は、疾に期限の過ぎた手形の解決でもあり、新春第一號とあつて、聊か奮發致しましたが相當經費がかゝりました。〕

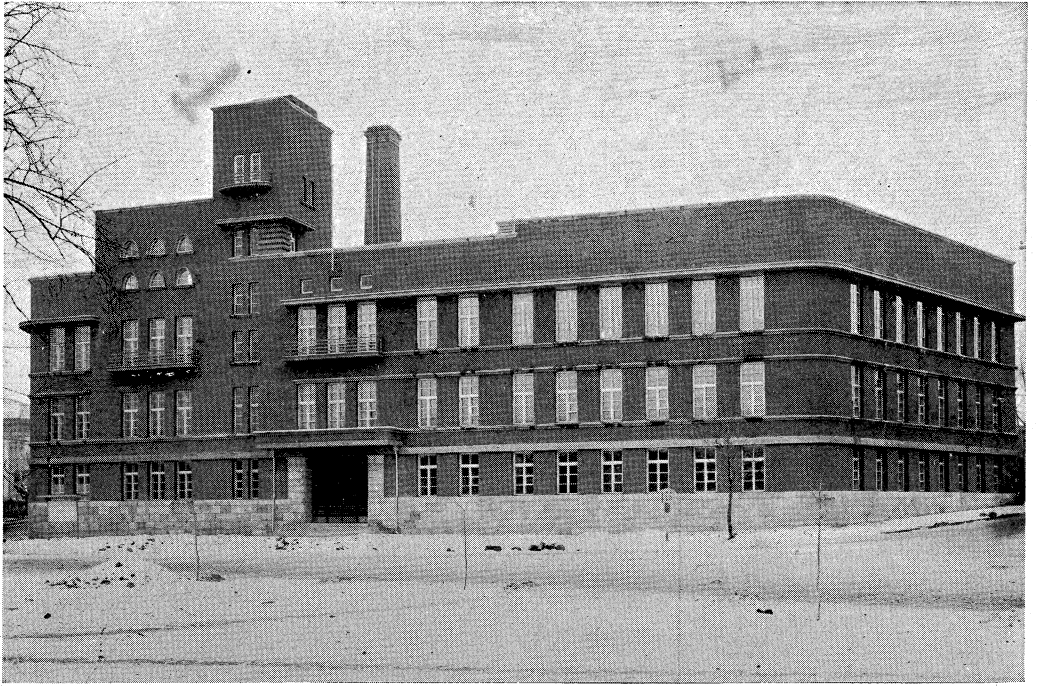
〔總じて、建築の雜誌は圖版が重大な要素をなすものでありますから、兎角經費がかゝつて經營上困難を感じるわけですが、殊にそれを多少共美的に感じのよいものとするためには、編輯技術にも人知れぬ苦心があります。とりわけ編輯と校正とが同時になつて來るのが、殆んど例月ですから、眞に隙のない編輯が出来兼ねる次第です。〕

〔新年號に於て特に其の感がありました。そこかしこに間の抜けたところがありました。それと氣付きながら、時が時でしたので如何ともすることが出来ませんでした。〕

〔兎もあれ本誌も次第に向上發展の一路を辿つてゐることは本快の至りに堪えませぬ。本年亦、最善最大の努力を傾注し、出来る限り各位の御期待に添ふべく祈つてゐます。〕

昭和六年一月二十一日

以 志 多



長春電話局廳舍

設計 關東廳土木課
施工 吉川組